

福岡県立学校施設長寿命化計画概要について

I 計画策定の背景・目的

- 県立学校施設の多くが、今後 20 年間で一斉に改築の時期を迎え、事業が集中し整備費が急増する。充実した教育環境を確保するためには、既存施設を可能な限り有効活用する長寿命化の取組を推進することが必要である。
- 本計画は、平成 38 年度までの県立学校施設の維持管理・更新について、方針と実施内容等を明らかにし、児童・生徒の安全・安心と充実した教育環境を確保することを目的とする。

II 県立学校施設の現状等

- 築 30 年以上の施設面積が全体の約 6 割を占めており、築 50 年改築を基本とする従来の方針では、改築年度の集中により、整備費が大幅に増大するとともに、年度ごとの整備費に大幅な変動が生じる。
- これまで事後保全による維持管理・更新等を行ってきた結果、老朽化が顕在化するまで対策を講じることができていない施設が多数存在している。

III 学校施設整備の方針

- 老朽化が進み、改修による長寿命化が困難な施設は改築を行う。それ以外の施設については、予防保全としての計画的な改造・改修を実施し、目標使用年数を最大 80 年として長寿命化を図る。

現行型		長寿命化型	
事業	築年数	事業	築年数
外壁改修 屋上防水改修	20年	中規模改造 外壁改修 屋上防水改修（1回目） 設備改修等	20年
内部改造	30年	大規模改造 外壁改修 屋上防水改修（2回目） 内部改造等	40年
改築	おおむね50年	中規模改造 外壁改修 屋上防水改修（3回目） 設備改修等	60年
		改築	80年

IV 長寿命化の実施計画

- 施設ごとの築年数や大規模改造工事の実施状況を踏まえて、老朽状況を判断し、事業を実施する。なお、老朽状況に基づき、目標使用年数を 80 年、65 年、50 年として長寿命化に取り組む。

	策定時	前期					後期					総計
	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38		
耐震対策	3,021	1,003	0	0	0	0	0	0	0	0	4,024	
緊急対策事業	1,202	3,342	1,997	1,534	507	0	0	0	0	0	8,582	
改築事業	1,897	1,709	4,067	4,660	5,025	7,399	7,891	7,435	6,961	6,480	53,524	
大規模改造等事業	269	1,601	2,388	2,604	3,690	3,310	3,719	4,543	4,554	5,016	31,694	
校地整備事業	482	861	796	587	469	464	473	425	421	500	5,478	
環境整備等事業	1,134	632	893	743	750	624	625	625	625	625	7,276	
総計	8,005	9,148	10,141	10,128	10,441	11,797	12,708	13,028	12,561	12,621	110,578	

(百万円)

※新設特別支援学校整備に関する費用は含んでいない